

# 台湾視察調査報告

H26年7月21日（月）16時～17時10分

## 1 高雄港 港務局

---

高雄港 港務局

- ・台湾には、5つの貿易港がある。台北、基隆、台中、
- ・高雄港は台湾の1/3の出荷を担う。
- ・入港箇所が2か所あり、第1は3万トン以下、第2は
- ・1300万TEUの取扱い量
- ・港の発祥の地となるエリアは、現在あまり使われておらず、公園として整備している。アミューズメントパークのようなものに。
- ・防波堤のようなエリアは、7kmあり、幅が200m。天然の防波堤の役割。
- ・DVDより
- ・高雄港は1863年に開港し、1945年に高雄港務局が成立、港湾管理業務を担う。
- ・1958年、新たに544ha埋め立てられ、5つのコンテナセンターができた。
- ・2012年台湾港務公司、高雄港務公司に組織変更。
- ・アジア・中国大陸を結ぶ要衝、アジア、アメリカ、オーストラリア、アフリカを結ぶ。
- ・17736ha
- ・第1出入口 水深12.5m 3万トンクラスの船
- ・第2出入口 水深17m 13000TEUのコンテナ船が通行できる。
- ・潮の満ち引き平均0.75m以下 年中船舶通行可能
- ・8つの商業港エリア+インターコンチネンタル・コンテナセンター

- ・121の埠頭、うち25はコンテナふ頭、他の96は石炭、セメント、穀物、石油化学、造船、ばら積み、客船など
- ・台湾の63% コンテナは71%以上の取扱い コンテナトランシップセンターの機能
- ・台湾のエネルギー、石油化学、重工業化学の原料、製品の出入港
- ・3つの付属港が貨物の貯蔵・輸送を支える。
- ・クリーン・プロフェッショナル・高効率・思いやりの船舶交通サービスシステム 船舶と港湾の情報を管理。
- ・運輸型の港湾から付加価値型のハブ港への変換に成功した。
- ・内外の海運会社や貿易会社、倉庫物流会社、荷主と密接に協力し、戦略的パートナーシップによる共同の市場の開発により、それぞれの利益の拡大させている。
- ・2005年4月に自由貿易港区が開港。国際物流の発展と高雄港の価値を高める。
- ・ISO9002,ISO14001,ISO27001 取得
- ・インターコンチネンタルコンテナセンター 2014年9月に完成 4つのコンテナふ頭は、環境保護で建設されたもので、台湾のグリーン港湾建設のモデルとなっている。
- ・19の親水ふ頭 コンテナ輸送の

Q1 4つのコンテナふ頭の環境保護対策の具体的なものは？

A1 具体的には3つ 1番目 下水の処理水を港の遠くに放水する 2番目 ヘドロを処理できるものは処理して、できないものは固定(?)する。3番目 陸上電源

Q2 今は、陸上電源はない？

A2 今、2か所のみ。今後は増える。

専用道路を作っている。

Q3 45フィートのコンテナは扱っているか？道路の通行は？

A3 扱っている。問題ない。

Q4 45フィート、増えていっている？

A4 成長率は、年1.4% あまり伸びない 20, 40は主流 道路は全く問題ない 更に大きい特殊なコンテナも申請すればOK

Q5 自由貿易というものは？

A5 土地だけ提供する。製品を作って輸出すれば関税はかけない。原料を仕入れ、製品を加工して輸出。雇用の場のみ提供する。

Q6 法人税も免除？

A6 法人税は、ある。関税のみがゼロ。

Q7 クルーズ船は何隻？

A7 54隻

Q8 インセンティブをつけている？

A8 名所旧跡までシャトルバスの提供など 周遊券

Q9 どこから来ている？

A9 客船が入港するのは、基隆の方がはるかに多い。アジアクルーズが多い。

Q10 第3航路 - 22mの完成はいつ？

A10 2040年の予定

Q11 中国貨物は？

Q12 上海など中国はライバルになるのでは？

A12 上海は遠いので福建のあたりのみ。中国の南の方の沿岸の港には、小さい港が多く、高雄港のような設備はないので、上海が遠ければ高雄港に持ってくる。

Q13 その際、上海港と高雄港で、入港料など、何か差は？

A13 揚子江の流域の製品は上海港に。人件費は上海は安くない。

Q14 地図の中の中洲のようなマークの意味

A14 まだ存在していない。これからヘドロを埋め立てて人口の島ができる。